

(株)飛翔  
代表取締役

PICK UP

THE PERSON

# 岩崎 飛鳥

KEY WORD

絆

— kizuna —

岩崎社長は歩みの中で、様々な人との縁を紡いできた。

広い度量を持ち、経営の何たるかを教えてくれた前職の社長、

かつて同じ釜の飯を食べ、再会して共に歩むことになった村田専務、

出張時に知り合ったことがきっかけで縁を紡いだスタッフ……。

縁でつながったスタッフたちを社長は「家族」と表現する。

共に励み、喜びを共にする存在であり、苦勞を超えていくための原動力。

「和や絆というものを、これからも大切にしていきたい」——

紡いできた絆を原動力に、社長はこれからも力強く歩んでいく。



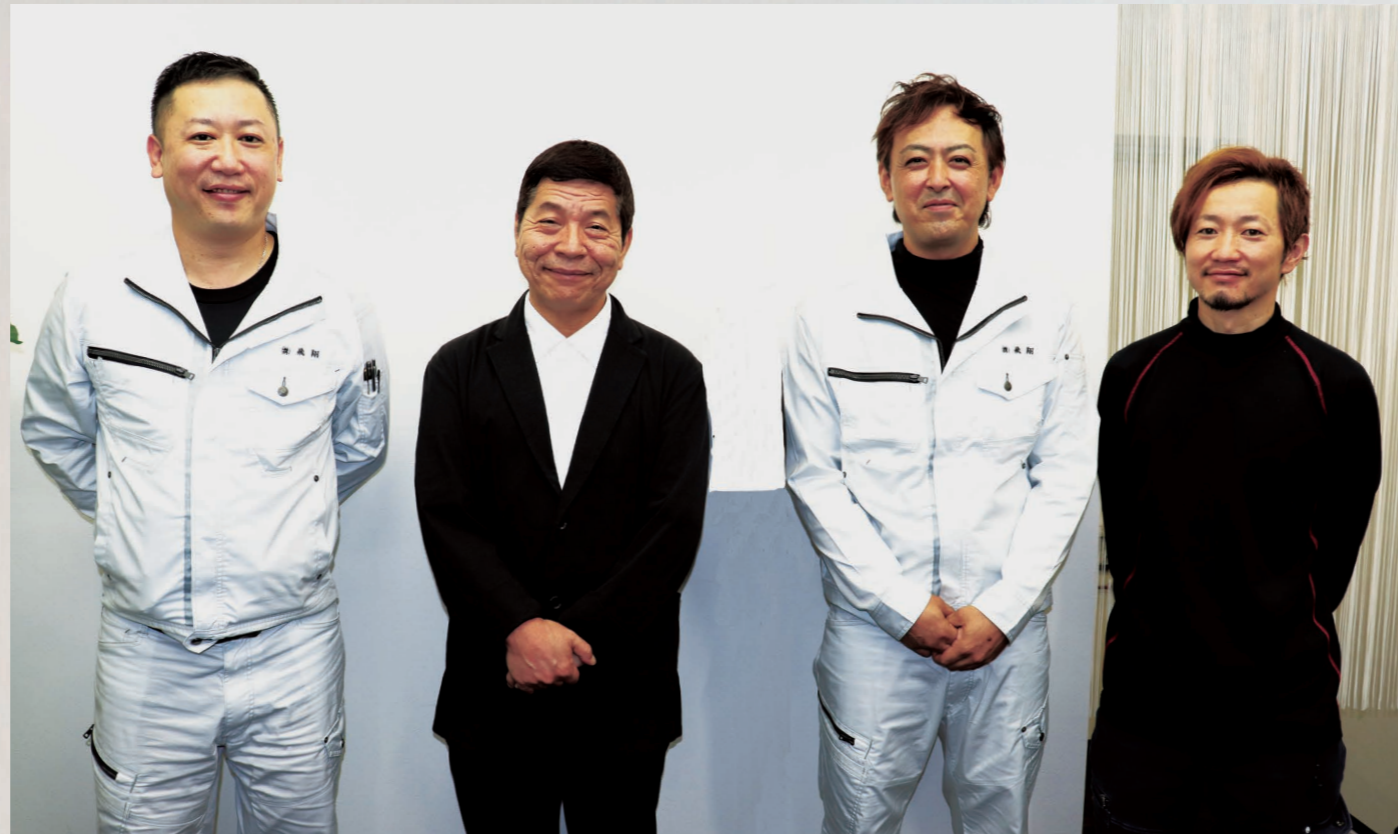
「私にとってスタッフたちは“家族”。  
絆で結ばれた不可欠な存在なのです」

「まずは、岩崎社長が独立に至られた経緯からお教え下さい。」

私が事業を設立することになったのは、前職で勤めていた総合建設業の会社の社長のお陰です。豪快で包容力があり、決して怒ることなく、相手を肯定して下さる方で、私は「社長のような人間になりたい」と感化され、生きる姿勢から変わっていききました。私の人生の中で、これだけ大きな影響を与えてくれた人はいません。他にいません。元々独立したいと考えていた私は、入社した時点からその意志を社長に伝えていたのですが、度量の大きい社長は、独立に関することも懇切に教えて下さいました。

まさに人生の師の如き存在ですね！

独立を準備していく中では、不思議な人との縁もありました。知人の伝手から「あなたと共に働かせてほしい人がいる」と言われて紹介されたのが現在専務を務める村田という人物で、かつて私と同じ釜の飯を食べた仲間だったのです。それで私も歓迎し、「独立に向けてスタッフを育てたいから、こちらで働かせていただけませんか」と社長にお願いしたところ、快くOKをいただきました。そして二人で社長のもとで貴重な経験を積ませていただいたのです。



▲村田専務（右から二人目）ら信頼するスタッフの方々と記念撮影

「あつたのでしよう。」

人のご縁って本当にありますよね。専務だけでなく、前の会社の社長ともご縁が続いていて、社長の息子さん当社で働いてくれています。実は私の父も今は当社のスタッフです。また私が大阪に2年程出張していた時に知り合ったことがきっかけで縁を紡ぎ、スタッフとした力を尽くしてくれている人もいます。本当にありがたいことだと思っています。

まさに縁でつながったファミリーのよな会社ですね。

ええ。私はスタッフのことを家族だと思っています。私の原動力は、間違いなくスタッフの存在。みんなを家族と思うからこそ、苦勞を苦勞と感じませんし、彼らがいなかったらここまでやるうとは思わなかったでしょう。ちなみに、当社のモットーは「絆」なんです。スタッフの伴侶や子どもまで含めて私の家族だと思っているんですよ。時々「みんなで食べに行こう！」となると、スタッフは自分の子どもたちも連れて来ます。ワイワイと賑やかで楽しいですよ。私自身、家族が一番大切ですし、家族を大事にする人が好きですね。

そうした社長のご人徳があつて、多くの方が集まってくるのでしょね。スタッフの皆さんに「こうしてほしい」ということはあります。

やはり人間関係は大切ですから、「和」や「絆」を大切にすることですね。特に私は挨拶にうるさくて、挨拶しない人にはすぐに注意します。最近は挨拶しない子もいますが、当社では根気よく指導して挨拶するようになってくれました。もうひとつ大事な点は安全です。ケガをしないよう、その点もよく話していますね。

最後に、これからの抱負や展望を。



専務が「大きく成長する会社になりたい」と話しており、私もこの会社を大きく育てていきたいと考えています。ゆくゆくは協力会社さんも合わせてスタッフ100人体制で動けるようにしたいですね。そのため目下のところ、お付き合いしてくれる会社を増やすために営業中です。その先の未来では自社ビルも持ち、より大きな仕事を任せられる会社になりたい。容易な道ではないかもしれませんが、目標達成に向け、地道に努力していきたいと思っています。

# スタッフの存在を原動力に 皆と共に歩みを進める経営者

プラント建設やそのメンテナンス、製缶や配管工事などの金属加工を手掛けている『飛翔』。同社を率いる岩崎社長は様々な人の縁を紡ぎ、アットホームな社風を築いていった人物だ。本日はタレントの松尾伴内氏が同社を訪れ、事業の歩みを交えた社長の「絆の物語」を伺った。

タレント

## 松尾 伴内

After the Interview

「40歳になるころを目処に法人化を」と考えておられたという岩崎社長。そして目標通り法人化を果たし、福利厚生を整え、会社としての形を築いていられました。法人化については「今後10年に向けての新たなスタートでもあります」とも語っておられ、10年のうちに100人体制を築き、会社として完成させるビジョンを描いておられるそうです。着々と目標を実現してこられた社長のさらなる飛躍が今から楽しみです！」

代表取締役

## 岩崎 飛鳥

Company Data

### 株式会社 飛翔

福岡県北九州市戸畑区  
中原東3丁目13-45-102

プラント建設工事・メンテナンス、  
製缶・配管工事、機械据付、保全工事全般

「運命的ですね。そして、とうとう独立へと。」

はい。その社長のところでは働いた後、まずは個人で独立しました。社長は業界における会社の動向を見て、私たちに「これからは自分たちでやれ」と言って下さったんです。仕事を私たちに回す手配までして下さり、最初から仕事がある状態で独立させてもらったのです。

その際は村田専務も一緒に？

そうですね。独立後は、専務を含めて4人ほどでスタートしました。ただ、事業をする中では紆余曲折ありました。中でも、専務以外の創設メンバーが離れていってしまったことは事業の一番の危機であり、本当にショックなことでした。ただ、その際、専務は「自分は飛鳥に付いていく」と言ってくれて、つらい中であつて非常に嬉しく、心強かったですね。

専務とは固い絆で結ばれているんですね。偶然再会したことといい、きつとご縁



「飛翔」命名の背景にあつたエピソード

▼岩崎社長が生まれた時、社長の母親は当初「飛翔」という名前を候補の第一に考えていたという。しかし、当時は「翔」の字が人名には使えなかったことから断念。そこから父親が「飛鳥」という名前を考え、命名するに至ったそう。そのエピソードを小さなころから聞いていた社長は、会社を立ち上げる時に「飛翔」と命名した。自分が見つけた会社という意識が強く芽生え、母親の長年の想いにも応えられた。名は体を表すと言うが、「飛翔」という力強いイメージは男気のある社長によく似合っている。その名の通り、どこまでも高く羽ばたいてほしい。